

G7 プーリアサミット（2024）

首脳コミュニケ：ウクライナ、核不拡散、核セキュリティ、原子力等に関する部分

- **ウクライナへの揺るぎない支援**：G7は必要とされる限り、ウクライナに対する揺るぎない支援を継続する。
- **イラン**：核のエスカレーションを止め、民生用目的では正当性を欠くウラン濃縮活動の継続的な停止を求める。IAEAの監視・検証メカニズムに全面的に協力・遵守し、核プログラムが専ら平和的なものであるとの説得力ある保証をIAEAに提供しなければならない。ウクライナにおけるロシアの戦争支援を止め、弾道ミサイルや関連技術に移転しないよう求める。
- **中国**：ロシアに軍事侵略をやめさせ、即時、完全かつ無条件にウクライナからロシア軍を撤退させるよう圧力をかけるよう求める。ロシアの国防部門に投入される武器装備等を含むデュアルユース物質の移転停止を求める。
- **北朝鮮**：全ての大量破壊兵器（WMD）及び弾道ミサイルの完全かつ検証可能な不可逆的な廃棄（CVID）を求める。全ての国連加盟国に対し、関連する全ての国連安保理決議の完全履行を促す。北朝鮮の制裁逃れに対抗し、関連する全ての国連安保理決議の履行を強化するとの決意を改めて表明する。
- **ロシア**：ウクライナに対する侵略戦争の文脈において、ロシアによる核兵器の使用は許容されない。ロシアの無責任で威嚇的な核のレトリックと、ベラルーシへの核配備を含む戦略的威嚇の姿勢を可能な限り強い言葉で非難する。またロシアによる北朝鮮への核・弾道ミサイル関連技術の移転可能性を深く懸念し、ロシアと北朝鮮に対し当該活動の中止と、関連する国連安保理決議の遵守を求める。
- **原子力**：二酸化炭素を排出しないエネルギー源としての原子力の可能性を認識。責任ある廃棄物管理を推進しつつ、サプライチェーンの安全性、信頼性、及びレジリエンスを強化するための取組みを支援する。革新的な先進・SMR技術の研究開発を促進し、資金調達手段へのアクセス拡大を可能にするために協力し、セクター間の協力を支援する。
- **サイバーセキュリティ**：(i) サイバー空間における責任ある国家行動の促進、(ii) 民間部門を含むサイバーセキュリティの改善、(iii) 悪意ある（国家の）行動やサイバー犯罪を阻止し、対応するためのツールの開発と使用、(iv) パートナー国のサイバーセキュリティ能力の強化、との4つのアプローチを追求していく。
- **軍縮・核不拡散**：全てのWMDとその運搬手段の拡散及び使用防止に引き続きコミット。「核軍縮に関するG7広島ビジョン」を想起し、現実的かつ実用的で責任あるアプローチを通じて達成される「核兵器のない世界」に向け、軍縮・不拡散への取組みへのコミットメントを再確認する。NPTは、世界の核不拡散体制の礎石であり、核軍縮と原子力の平和的利用を追求するための基盤である。冷戦期における世界の核兵器の全面的な削減を決して後退させてはならない。

G7外相会合（2024）

「グローバルな課題への対処及びパートナーシップの促進」 の核不拡散、核セキュリティ、原子力等に係る部分

- **中国**：ロシアが軍事的侵略を停止するよう圧力をかけることを求める。中国の企業から兵器・軍事生産用装置のための軍民両用の物品・部品のロシアへの移転に、強い懸念を表明する。
- **北朝鮮**：
 - ✓ 北朝鮮に対し関連する全ての国連安保理決議に従い、完全かつ検証可能な不可逆的な方法で全ての核兵器・既存の核計画・その他大量破壊兵器・弾道ミサイル計画を放棄することを求める。
 - ✓ 国連安保理北朝鮮制裁委員会専門家パネルのマンデートを更新するための国連安保理決議に対するロシアの拒否権行使は、北朝鮮に国連制裁の回避を容易にするものである。我々は、ロシア及び北朝鮮に対し、全てのそのような活動を直ちに停止し、関連する国連安保理決議を遵守するよう強く求める。我々は、制裁回避に対抗し、執行を強化するためのコミットメントを改めて表明する。
- **軍備管理、軍縮・不拡散、宇宙**：
 - ✓ ロシアのウクライナに対する継続する侵略戦争並びに無責任な核のレトリック・行動、北朝鮮及びイランによる核・弾道ミサイル計画の継続的な進展を大きく懸念する。
 - ✓ ロシアによるCTBTの批准の撤回を深く遺憾に思い、核爆発実験に関するロシアの声明を深刻に懸念する。
 - ✓ 核兵器用核分裂性物質生産禁止条約（FMCT）の即時の交渉開始を求め、まだそうしていない全ての国に対し、そのような物質の生産に関する自発的なモラトリアムを宣言・維持するよう強く求める。
 - ✓ 我々はロシアに対し、2022年1月3日に発出された核戦争の防止及び軍拡競争の回避に関する5核兵器国首脳の共同声明に記載された原則に関して、言葉と行動で改めてコミットするよう求める。
 - ✓ 我々は新戦略兵器削減（START）条約の履行停止に深い遺憾の意を改めて表明し、ロシアに対し、同条約の完全な履行に戻り、核リスクの低減について米国と関与するよう求める。
 - ✓ 他の指導者、若者及びその他の人々も広島及び長崎を訪問するよう促しつつ、軍縮・不拡散教育の重要性を強調する。

G7不拡散局長級会合（NPDG） ステートメント1（2024）

- **NPT**: 2026年のNPT運用検討会議の成功はG7の最優先課題であり、我々はNPT体制を強化するための方策について、可能な限り広範な合意を追求することを約束する。
- **核軍縮**: 冷戦終結後に達成された世界の核兵器保有量の全体的な減少は、今後も継続されなければならない、後退させてはならない。
- **CTBT**: 我々はCTBTを発効させる緊急の必要性を強調する。この点に関して、我々は、ロシアが条約の批准を撤回したことを深く遺憾に思うとともに、核爆発実験に関するロシアの声明について重大な懸念を表明し、ロシアに対し核実験のモラトリアムを引き続き遵守し、再度 CTBT を批准するよう求める。
- **FMCT**: 核兵器・その他の核爆発装置に使用するための核分裂性物質の生産モラトリアムについて、NPT上の核兵器国の中で唯一モラトリアムを宣言していない中国に対し、それを宣言するよう求める。
- **核兵器に関する情報提供の重要性**: 核兵器国が戦略的リスク低減、信頼醸成措置、核ドクトリン・政策・能力に関する透明性等、NPTと合致する軍縮の発展に不可欠な効果的措置を追求する努力を行うことを歓迎する。我々は、核戦力・核ドクトリン・核兵器運搬手段に関する透明性の向上を通じ、予見可能性を高めることの重要性を強調する。
- **核兵器国間の相互監視の必要性**: ロシアによる新START条約の履行停止について改めて深い遺憾の意を表明し、ロシアが完全な遵守に戻り、核リスクの低減に対して米国と誠実に取り組むことを求める。また、我々は、中国による不透明かつ加速的な核兵器の拡大・より洗練された運搬手段の開発に、改めて懸念を表明する。

外務省: <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100657204.pdf>

G7不拡散局長級会合（NPDG） ステートメント2（2024）

- **IAEA保障措置**: 原子力供給国グループにおいて、平和的目的の原子力輸出・原子力関連輸出にあたって、追加議定書の発効を供給条件とするための更なる議論を支持する
- **ザポリジヤ原発（ZNPP）へのロシアの行動**: ロシアに対し、「原子力安全及び核セキュリティに不可欠な7つの柱」と、ZNPPで評価された困難な状況を受けてIAEAが策定した「5つの具体的原則」を尊重するよう求める。
- **核セキュリティ**: IAEAの基準及びガイダンスに沿った、最高水準の原子力安全、核セキュリティ及び保障措置の全ての国による完全な実施を促進することにコミットする。また、2024年 IAEA 核セキュリティ国際会議（ICONS2024）の成功にコミットする。
- **原子力サプライチェーンの多様化**: 2022年にドイツのエルマウ宮殿で行われたG7首脳会合において、ロシアからの民生用原子力及び関連物資への依存をさらに削減するとしてG7首脳のコミットメントを想起する。
- **イラン**: イランにおける核兵器製造の技術的能力に関する最近の公式声明は、極めて懸念すべきものである。我々はイランに対し、核活動の継続的な拡大を直ちに撤回し、不拡散分野における法的義務・政治的コミットメントを遅滞なく履行するよう求める。
- **北朝鮮**: 我々は、国連安保理においてロシアが拒否権を行使して北朝鮮制裁委員会専門家パネルのマンダートの延長を阻止したことを強く非難する。我々は、北朝鮮の制裁回避活動に対抗する我々のコミットメントを再確認する。また、ロシアから北朝鮮への核・弾道ミサイル関連技術の移転の可能性についても深く懸念する。

外務省: <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100657204.pdf>